

2015年6月18日 神奈川新聞 掲載

創立 50 年記念し新館 三技協「交流深まる場に」

情報通信エンジニアリングを手掛ける三技協（横浜市都築区）が創立 50 周年を迎え、記念事業として本社敷地内に新館を建設した。次の 50 年をにらみ、「交流・創造・発信の場」と位置づけている。

創業以来、大手企業 1 社向けの技術者派遣が主要事業だったが、2001 年に業務マニュアルや進行状況を共有する企業内 SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を導入し、組織のあり方を見直した。業績が改善し、蓄積した専門知識を活用したマネジメント事業も大きく進展。2 代目の仙石通泰社長（72）は「業務の『見える化』で社員の多機能化やコミュニケーション向上が進んだ」と回顧する。

その企業風土は新館の造りにも現れる。延べ床面積約 835 平方メートル、2 階建て。社員同士の、あるいは社員と顧客との交流の場として、ガラス張りの開放的な空間づくりを心掛けた。1 階には半円の階段教室状スペース。「らせん形を描くアンモナイトのように、議論が渦巻き、交流が深まる場に」との願いを込めた。

同社は、移動体通信、ワイヤレスブロードバンド、企業内情報通信の 3 事業が柱。有料道路の児童料金收受システム（ETC）や携帯電話の電波を中断する基地局などの設備にも技術が応用されており、東日本大震災の被災地では基地局の復旧に携わった。

5 月現在の従業員数（連結）は 916 人で、連結売上高は 107 億円（14 年 5 月期）。